

# —2020年1学期オンラインライブ保育での全日制幼児部の子ども達—

## —オンラインライブ保育での新年度開始—

2020年、例年とは違った新年度の幕開けとなりました。コロナウイルス感染対策として、子ども達、教職員全員が自宅待機を余儀なくされた中での始業でした。さて、幼児部として可能な限り通常の保育と同じようにと検討しました。当初は動画配信を中心にオンラインライブ保育としました。保護者からのアンケートを参考にさせていただきながら、通常の行事を取り入れること、専科の時間を取り入れていくこと……。など全日制幼児部独自のホームページを毎日アップデートして保護者の方に閲覧して頂き、ご家庭とのコミュニケーションをより親密にとりオンラインライブだからこそできることを保育案にとり入れて1学期を過ごしてきました。

## —オンラインライブでの幼稚園スタート！新入園児—

始業式での教職員の紹介……。新入園児の年少組にとっては、右も左もわからない幼稚園生活のスタートとなりました。当初は戸惑いながらもオンラインライブにて幼稚園の基本的な生活習慣をじっくりゆっくりに少しずつ身につけてきました。挨拶、朝の歌……。名前を呼ばれたら返事をする。静かにお話を聞く……。などを直接担任の先生の顔をみて身につけてきました。そして1学期終業式では上級組と同じように静かにお話をきいていました。お誕生会、子どもの日の集い、虫歯予防の集い、そして陽だまりの会での特別講師のお話……。色々な集いや行事を通して、子ども達は大きく成長しました。

「夏のお楽しみ会」では年少組、年中組そして年長組が合同で一つの画面を共有しておこないました。夏祭りでのお楽しみの一つの夜店で綿菓子やかき氷のお買い物の寸劇を見たり、話を聞いて楽しみました。そしてなんとと言っても盆踊り。和太鼓を交え「良い子のマンハッタン音頭」を全員で踊りました。年少組さんも浴衣や甚平を着て掛け声も大きく元気に楽しみました。オンラインライブの中でも日本の伝統行事に親しみました。暑い夏も元気で楽しく過ごせますように約束しました。



## 「ウィルスと正しい手洗い方法について」— 特別講師を迎え—

オンラインライブ保育中の6月には、3クラス合同で日本から特別講師をお迎えして、ウィルスと正しい手洗い方法についてのお話を伺いました。特別講師宮崎医師のお医者様から直接お話を聞けるまたとない機会に、前日から子ども達はどんなお話が聞けるか、どんなことを質問しようか楽しみに待ち望んでいました。当日は、ウィルスがどうやって体の中に入り込むのか、病気にかからないためにはどのように予防したら良いか、など子ども達にはちょっと難しいお話も、馴染みの縫いぐるみが登場したので、みんな真剣にじっと宮崎先生のお話には耳を傾けていました。最後の質問コーナーでは、「どうしてコロナウィルスはいろんなところにいるの?」「ばい菌ってなあに?」「どうしてマスクはしなくちゃいけないの?」など子ども達から出る様々ななぜ?どうして?の疑問にも、わかりやすく丁寧に答えて下さいました。保護者の皆さんや教員からの質問にも答えてくださり、有意義な時間でした。これで外出時・帰宅後に気をつけなければいけない事を理解でき、これからも上手に予防しながら、安全に過ごしましょうね。

## 正しい手の洗い方



## 気分はモーツァルト!



## —子ども達は製作、運動、言葉遊びが大好き!ある日の年中組—

製作コーナーでのコマです。もうすぐ専科のミュージックの時間が始まるので、上手に音が奏でられるように、音楽家になりきってみよう!という事で、モーツァルトのウィッグを作りました。家庭で集めて頂いたトイレットペーパーやラップの芯をテープでつなげて、耳の横にくるように頭に乗せれば、「はい出来上がり!」いつもと違った自分の姿に嬉しそう。ミュージックの時間では、このウィッグをつけ気分はモーツァルト。家にある音の鳴る物を楽器に見立てて演奏しニコニコでした。オンラインライブ保育期間中は、製作の他にもダンス、歌、言葉遊び、ヨガなど、保護者の協力のもと、色々な事に挑戦してきた年中組。また、オンラインライブ保育が始まった時から、週初めに目標を立て金曜日に成果をみんなの前で発表する事に頑張りました。最初はお母さんの力を借りてた子も、1学期終了間近には、自分で目標を決め自信を持って発表しました。オンラインライブ保育の中の、通常とは違う状況にも適応し、相手を想いやることのできる、年中組の強さと優しさそして成長を感じた1学期でした。

## —オンラインライブ保育での癒やしの時間— 「陽だまりの会」

全日制幼児部では、新型コロナ対策とし通常保育が不可能となり、新年度当初よりモニターを通しての保育となりました。保育は動画配信とオンラインライブ保育を平行して毎日行われきました。子ども達は自宅待機を余儀なくされ、通常の対面保育とは違った保育内容を工夫しながら、子ども達とコミュニケーションを取り楽しい時間を持てるか、また自宅待機でのストレスをどう解消できるかと検討しました。そこで、午前中予定させているオンラインライブ保育が終わり、次の午後の時間の中に自由参加型フリースペース「陽だまりの会」を毎週水曜日に30分開設することにしました。この時間は幼児部職員中心に保育の延長上に癒やしの時間、子ども達や保護者のストレス解消やリラックスする時間、交流を図り、特別な準備もなく、途中で休憩もいい、小学部やこども園きりんのへやの子ども達も参加できる時間としました。「そんな時間が欲しかった・・・」と子ども達はもちろん、保護者の方々からも大歓迎となりました。職員一人ひとりの得意分野で計画を立てスケジュールを作りました。ジムやダンス、手遊びに読み聞かせなど。また、国内外を問わず特別講師を招きし、6月の1回目は日本で活躍されている医師、6月最終回は日本より「プロのヨガ講師」を迎え「親子ヨガ」でお母さんと一緒に過ごしました。この「陽だまりの会」を通して子ども達や保護者の方々より、「お話を聞いていたら寝ちゃったんだ・・・」とか「子どもと一緒に体を動かすストレスが解消できました。」「懐かしい手遊びやお話が聞けて子どもの頃を思い出しました・・・」などと好評頂きました。オンラインライブ保育の中での、特別な癒やしの時間「陽だまりの会」となりました。



**作品発表時や話を聞く時の集中力はさすが年長組！真剣です。**



## —幼稚園最高学年として「発表力」をつけた1学期—

オンラインライブ保育から始まった年長組としての新年度。当初は戸惑っていた子ども達も、ライブでの保育の受け方や答え方に少しずつ慣れてきました。また、端末の操作が自分で行えるようになり、お話を聞く時は「ミュート」にして聞く。意見のある時は「外して・・・。」とスムーズにオンラインライブ保育の時間をもてました。

1学期は、「発表力をつけよう！」という事で「朝の会」は子ども達中心のお当番が進行する。号令、歌、挨拶、日付、お休み確認そして、一人ひとりに「ひまわりトピック\*自分のニュース（聞いたこと、見たこと、感じたことなど）」を発表してもらい進行していく。発表が終わったら発表者は「終わりです。」を伝える。質問を聞くそして答える・・・この一連の活動をルーティンとして毎朝頑張りました。

そしてこの頑張りは、2学期に予定されている、学園祭の劇発表会にて成果を活かせると確信しています。オンラインライブ保育だからこそできた、細かなところまで注意を払って発表力を身につけられた1学期だと思えます。いろいろな制約の中で、今だからこそできることを、一生懸命に活動し成果をだした年長組でした。